

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現[通常]（地域活性化）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	福岡市												
計画の目標	九州・西日本地域の経済活動や市民生活を支え、我が国港湾の国際競争力強化に大きく貢献する拠点港湾「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港を目指し、港湾機能の充実・強化に取り組んでいく。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	14	A	14	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26末)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	アイランドシティ地区の船だまりにおいて、港湾活動を円滑に維持していくために必要な小型船の係留可能隻数の増加を図る。 船だまりの係留可能隻数 (係留可能隻数 [隻]) = (評価時点の係留可能隻数 [隻] - 現況の係留可能隻数 [隻])	0隻	53隻	53隻

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-001	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	建設	アイランドシティ物揚場 整備	延長 L=370m	博多港・アイラ ンドシティ地区	■					10	—	
	A02-002	港湾	一般	福岡市	直接	福岡市	拠点	建設	アイランドシティ船揚場 整備	延長 L=50m	博多港・アイラ ンドシティ地区	■					4	—	
											小計						14		
										合計							14		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
福岡市港湾空港局で事後評価を実施し、福岡市公共事業の再評価等実施要領に基づき設置している福岡市公共事業再評価等監視委員会において審議	令和2年12月
	公表の方法
	福岡市ホームページにおいて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	船だまりの整備を着実に進め、目標値の係留可能隻数を確保することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

事業終了により今後の方針なし
----------------

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	船だまりの係留可能隻数	
	最終目標値	53隻
	最終実績値	53隻